

**コースのあらまし** 日本三不動のひとつに数えられる南河内の名刹・瀧谷不動尊から、大和川水系の一級河川・石川の右岸堤防沿いを北上。金剛大橋を渡って富田林の寺内町に入り、重文指定の旧家などを巡る。平安時代初期の創建ながら現代も人々の信仰を集める名刹の雰囲気、見晴らしのよい河川敷沿いのウォーキング、室町時代末期に形成された寺内町の風情と、3つの楽しみがあるコース。スタートから瀧谷不動までを除き、上り下りの少ない平坦な道。

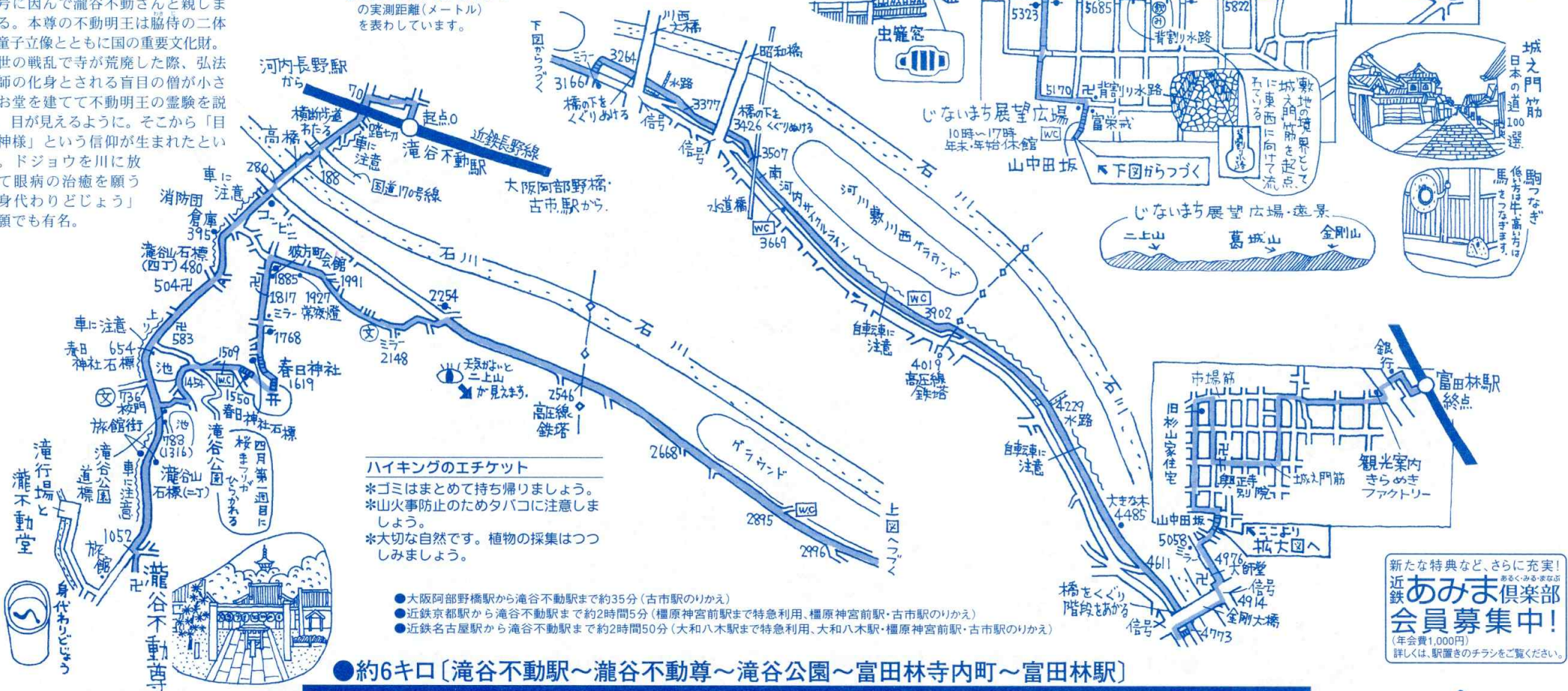
**瀧谷不動尊** 弘仁12(821)年、弘法大師の創建と伝える真言宗智山派の寺。正式には瀧谷不動明王寺だが、山号に因んで瀧谷不動さんと親しまれる。本尊の不動明王は脇侍の二体の童子立像とともに国の重要文化財。中世の戦乱で寺が荒廃した際、弘法大師の化身とされる盲目の僧が小さなお堂を建てて不動明王の靈験を説き、目が見えるように。そこから「目の神様」という信仰が生まれたという。ドジョウを川に放して眼病の治癒を願う「身代わりどじょう」祈願でも有名。

**富田林寺内町** 戦乱に明け暮れた室町時代末期の永禄元(1558)年頃、京都本願寺系の興正寺の門跡が、興正寺別院(国重要文化財)を創建。この寺院を中心に形成された宗教自治都市が富田林寺内町。創建当時の計画的な六筋七町の町割りが残り、商業も栄えたことから、造り酒屋であった旧杉山家住宅(国重要文化財)をはじめ、仲村家住宅(府指定文化財)、旧田中家住宅(国登録有形文化財)など、重厚な旧家住宅が現存する。一帯は、大阪府内唯一の重要伝統的建造物群保存地区。

**城之門筋** 富田林寺内町のほぼ中心部、南北六筋東西七町の町割りの東から3筋めにあたり、興正寺別院の門前を南北に通る。約400mある街のメインストリートだが、防備のために交差点を故意に食い違い状態にする「あてまげ」など往時を偲ばせる遺構がある。興正寺別院の山門も、伏見城の遺構である可能性が高いとされる。両側に建ち並ぶ旧家の屋根の煙出しや虫籠窓など、江戸時代の町並みの風情が楽しみ、「日本の道100選」にも選ばれている。

- コース内の神社仏閣、施設等によっては、有料の個所があります。
- .....道標
- (飲).....飲食店
- (茶).....喫茶店
- (み).....おみやげ店

●地図内の数字は、起点からの実測距離(メートル)を表わしています。



**ハイキングのエチケット**  
 \*ゴミはまとめて持ち帰りましょう。  
 \*山火事防止のためタバコに注意しましょう。  
 \*大切な自然です。植物の採集はつしみましょう。

- 大阪阿部野橋駅から瀧谷不動駅まで約35分(古市駅のりかえ)
- 近鉄京都駅から瀧谷不動駅まで約2時間5分(橿原神宮前駅まで特急利用、橿原神宮前駅・古市駅のりかえ)
- 近鉄名古屋駅から瀧谷不動駅まで約2時間50分(大和八木駅まで特急利用、大和八木駅・橿原神宮前駅・古市駅のりかえ)

●約6キロ〔瀧谷不動駅～瀧谷不動尊～瀧谷公園～富田林寺内町～富田林駅〕

このコース地図は2016年11月1日調査に基づいて作成しています。風水害、天変地異等によりコース変更が生じることがありますので、事前にお問い合わせください。当コースのお問い合わせ先は近鉄 大阪ハイキング係 ☎(06)6775-3566

# 日本三不動の寺から「じないまち」巡りコース

新たな特典など、さらに充実!  
**近鉄あみま倶楽部**  
**会員募集中!**  
 (年会費1,000円)  
 詳しくは、駅置きのチラシをご覧ください。

きれいな思い出 きれいな自然  
 コミやアキ缶は、持ち帰りましょう

企画・発行=近畿日本鉄道(株)  
 制作・印刷=(株)アド近鉄  
 イラストマップ=宮野耕治  
 ※無断転写禁す

